

## 理学部 生物科学科

---

### 教育研究上の目的

生物科学科は、生物のもつ普遍性と多様性についての広範な知識を授けることで、知的好奇心と創造性に富み、生物学に関する専門的知識と科学的思考能力を身に付け、社会において、生物学の多岐にわたる分野や他の学問との境界領域で活躍できる人材の育成を目的とする。

### 教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、理学部生物科学科では、生物学の持つ様々な基本原理と生物多様性に関する知識を習得し、これに加えて理学部出身の大学教養人としてふさわしい一般教養と社会常識をバランスよく身につけた高い識見を有する人物の育成を目指しています。

社会の諸問題は生物学的な事象を包含するとともに、その投影でもあります。そのため、自然科学の一分野である生物学を学んだ人は、他の分野を学んだ人々と協力しあうことで、社会の諸問題に対してその本質に迫る中、正かつ堅実な解決法を提示することにより貴重な貢献をなしうるものと思われれます。

そのために、生物科学科では、講義科目と演習科目、実習科目の均整のとれた履修カリキュラムを用意して、生物学の基礎知識を基盤とした論理的思考力、表現力ならびに批判力、更には、社会が直面する生物学に関わる諸問題の解明や技術革新に貢献しうる科学的思考能力を涵養することを教育目標として定めます。また、生物科学科では、4年間の学修生活を通じて、知識の獲得のみならず、文章やプレゼンテーションによる表現の錬成を通じて、生物学と理学全般との有機的な接続、ならびに、自然科学と社会科学や人文科学との関わりをも理解する能力を育成することも教育目標としています。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学科の教育課程において、卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる知識、教養、能力を身につけていると判断され学士(理学)の学位が授与されます。

#### 1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1) 自然科学の基礎知識を基盤とした論理的思考力を身につけている。
- (2) 生物学の専門的知識を基盤とした倫理観と問題解決能力を身につけている。

#### 2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1) 教養系科目の履修により培った社会人基礎力を身につけている。
- (2) 外国語科目と演習系科目の履修を通して修得した語学力に基づくコミュニケーション能力を身につけている。

#### 3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1) 社会の諸問題に対して中、正かつ堅実な解決法を提示する能力を身につけている。
- (2) 社会が直面する諸問題の解明や技術革新に貢献しうる生物学についての知識を基盤とした科学的思考能力を身につけている。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

#### 1. 教育課程の編成・実施

本学科では生物学に関する専門的知識と科学的思考能力を身につけ、社会において、生物学が関わる多岐にわたる分野で活躍できる人材を育成するため、以下に示した方針に基づいて教育課程を編成しています。

- (1) 基本的な学修能力と広範で多様な知識の獲得のため、共通教養科目として全学共通カリキュラムである「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」および外国語科目および教養系科目を設置します。
- (2) 分子から細胞、個体、生態系に至る各階層の生命現象についての講義科目を設置することにより、

生物の持つ「共通性」と「多様性」を理解し、生命現象を深く解析する能力を涵養する教育を実施します。

- (3) 初年次の専攻科目として高等学校の理科教育で修得した自然科学の基礎知識の強化を目的とする概論系科目を配置しています。
- (4) 1年次と3年次に実験科目を配置し、講義科目で修得した知識と思考方法に基づいて実験データを解析・評価し、さらに結果を適切に表現し報告できる能力を養います。
- (5) 生物学に関連した国内外の書物の読解力と個々の考えを整理して人に伝えるための表現力を身につけることを目的として2年次と3年次に演習系科目を配置しています。
- (6) 4年次に、卒業研究と生物学の先端的学術論文等を教材とした輪講を必修科目として設置します。これらを通して、これまでに身につけた語学力や基礎学力ならびに実験技術を有効に活用できる能力を育成し、4年間の総仕上げを行います。

## 2. 教育の方法と評価

- (1) 教育課程の実施にあたり、講義科目と演習科目や実験実習科目をバランスよく配置して相互の連携を図るとともに相乗効果が得られるカリキュラム編成としています。
- (2) 初年次の「FYS」から3年次にいたるまでの各種演習科目ならびに4年次における輪講において少人数クラスの双方向型授業を実践し、学生が自ら調べ発表し、議論することを通して、未知の問題を発見して解決する能力およびコミュニケーション能力を培います。
- (3) 単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

### 1. 大学教育によって培う能力

- (1) 本学科では、生物学に関する専門的知識と科学的思考能力を身につけ、社会において、生物学に関わる多岐にわたる分野で活躍できる人材を育成します。

### 2. 本学科が求める入学者

- (1) 自然科学の基本原則を理解するために必要な、高等学校卒業程度の理科、数学、英語等の基礎学力を有する人
- (2) 生物の「共通性」と「多様性」、及び様々な生命現象に強い興味をもつ知的好奇心が旺盛な人
- (3) 将来、生物学の分野で研究者や教育者、あるいは専門性の高い職業人として活躍することを目指す人

### 3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1) 本学科では多様な入学試験を実施することにより、高等学校での学習を大学での学びに結び付けられる基礎学力を有しており、また、生物学の専門知識を活用して社会の発展に貢献したいと考えている人を受け入れます。